

# 下倉玲子研究室 since 2008



メンバー2019  
 呉工業高等専門学校・建築学科  
 5年 岡崎朱夏 4年 寺本彩乃  
 木付碧 半情新治朗  
 水野智士郎 山下咲香  
 福光真也 エンヘー

## 学校計画が研究活動の中心です。

## 家具などで作るアクティブ・ラーニング空間

## 特別支援学校における専門的な空間配慮

## 通級指導教室の空間構成

Approach  
 学校アクティブ・ラーニング環境  
 特別支援のための空間配慮

Theory  
 ・家具の配置で学びをつくる  
 ・アクティブ・ラーニング空間は特別支援の場をつくる  
 ・オルタナティブ教育の場もあっていい

Collabotation  
 他教育機関の研究室と共同で研究に取り組んでいます。

一人一人に合わせた学校づくり

スウェーデンのあるインデペンデント・スクールでは授業中、子供がいない教室なんてない。下図でクラス一斉授業が行われているのは網かけ部分だけ。同時進行で、個別学習をする子供が空いている教室を使っている。

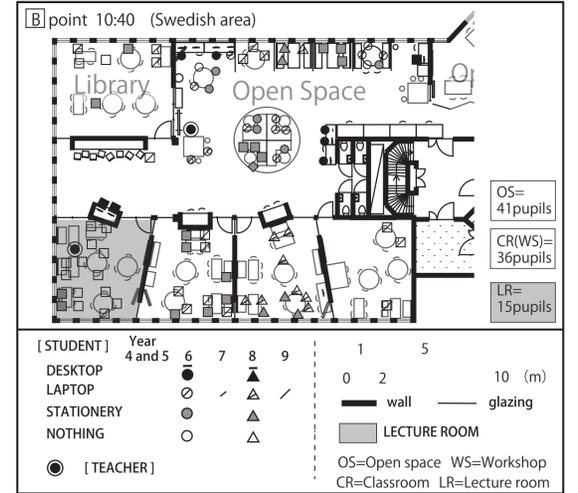


図2: スウェーデン kunkapsskolan Spanga の授業中の児童生徒の居場所

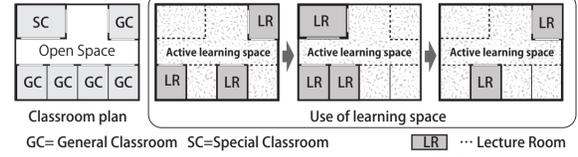


図3: アクティブ・ラーニングスペースの概念

個別教育や PBL など独自に多様な教育に取り組む学校では、オープンスペースに家具がいっぱい、スウェーデン3校での家具配置を分析

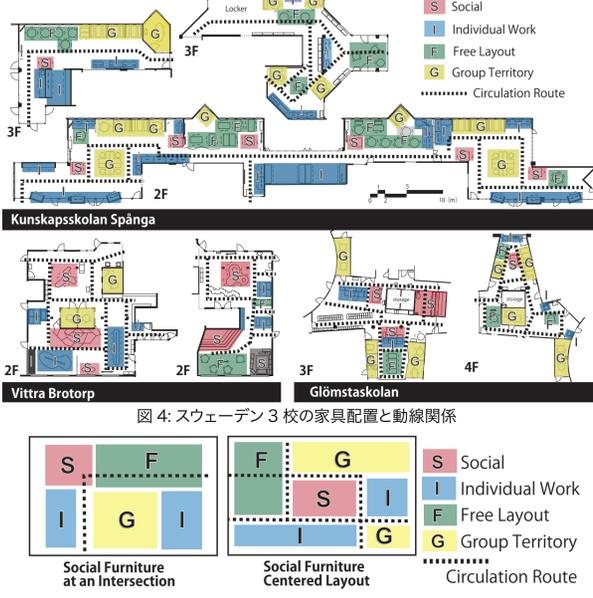


図4: スウェーデン3校の家具配置と動線関係

図5: 家具配置の特性

日本の特別支援学校の普通教室は多機能だが、その中だけで様々なサポートを行うための違った環境はつくりにくい。その為時には廊下も活用される。

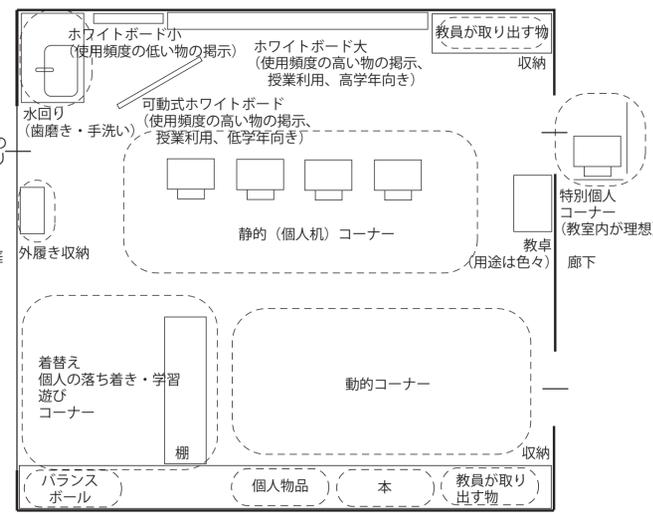


図1: 普通教室の家具・コーナー配置

イギリスの特別支援学校は、児童が気持ちをコントロールして、円滑な学校生活が送れるような配慮がある。

自閉症児の為の落ち着き空間  
 Kitsuki イギリスの特別支援学校の空間計画に関する研究をしています。実際に現地調査でイギリスに行き日本の学校とはまた違う雰囲気でもとても良い経験になりました! 研究内容は幅広く現地調査等もあるので、視野が広がると思います。

イギリスの特別支援学校では、児童が落ち着くためのスペースが教室の中や隣接するテラス、廊下に面してある。これにより、段階的に児童生徒は気持ちをコントロールできる。

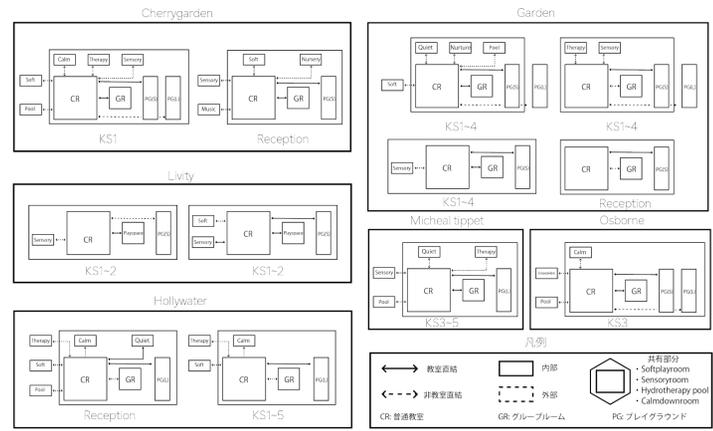


図2: 普通教室を起点としたカムダウンスペースの位置

通級指導は全児童生徒の1.1%(H29)が受けている。各学校は空き教室を回収するなどして教室を確保している。

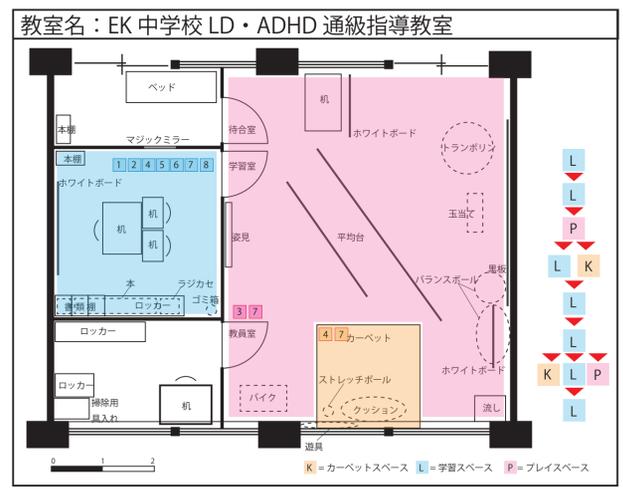


図1: LD・ADHD 通級指導教室の利用空間と指導の流れ

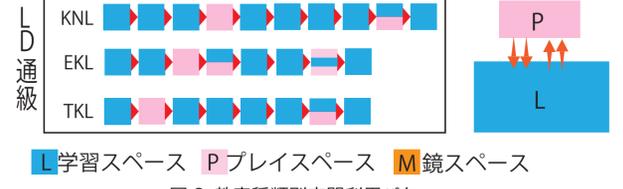


図2: 教室種類別空間利用パターン

空間構成を指導の流れで捉える。市町村の取り組みの全体像  
 Mizuno 広島県内の通級指導教室に関する研究をしています。アンケート調査を行ったり、学校訪問に行って教室の設備や利用状況、空間の使われ方をまとめています。授業では学ばなかった Excel の使い方も学ぶことができました!

## インクルーシブ教育の場の形

日本でも特別支援学校と普通学校が併設されているケースが見られ始めた。イギリスでは1978年のウォーハック報告書から「特別な教育的ニーズを有する子供」に向き合ってきた。そしたら、いろんなインクルーシブのカタチができてたよ!

学校のインクルーシブ教育(みんなが共に学ぶ教育)における場の構成について研究しています。日本だけでなく、イギリスやスウェーデンなどの海外の学校も現地調査しています。僕はイギリスに行きました。イギリスの特別支援教育の場は、日本では見られない空間が多くありました。

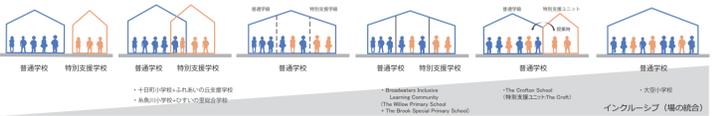


図3: インクルーシブの度合い

日本だって負けてない!  
 日本の先進学校の学校運営の場の設定方法を研究する。  
 Okazaki 広島観智学園の空間利用や家具配置についての研究をしています! 2019年4月に開校したばかりの学校で、夏休みに現地調査に行きました。私は呉高専の寮で生活していますが、観智学園の寮はおしゃれなアパートのようで、雲泥の差で驚きました。

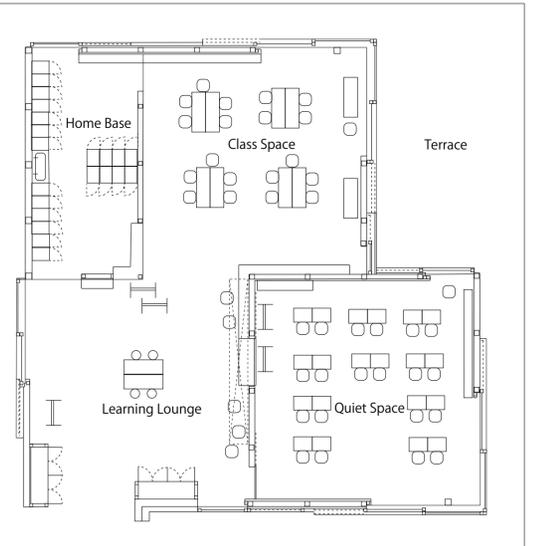


図1: 広島県の先進校の家具配置